

功労動物表彰
盲導犬「ハンナ」が受賞



▲お仕事中のハンナと岡本さん

兵庫県動物愛護協会より動物愛護週間における功労動物として、盲導犬「ハンナ」が表彰されました。
パートナーの岡本和也さん(北本荘)は、ハンナとともに地域のイベントへ

の参加や学校園などでの講演会などを通して、盲導犬や視覚障がい者への理解を得るために積極的に活動されています。

表彰後に行われた講演会で岡本さんは、海外旅行での体験談や日常生活で苦労することなどを話されました。「障害のあるなしにかかわらず、お互いが気持ちよく生活できる社会をつくるために、声を出して活動していきたい」と活動への思いが伝わってきました。

ハンナは、5歳のメスのラブラドルレトリバーです。「ハンナはとても温厚な性格ですが、家で自由にしているときなどは、元気なやんちゃ娘ですよ」と岡本さんは愛しそうにパートナーのことを語っていました。

消防団水防訓練を実施
播磨町消防団

近年、局地的な豪雨による災害が全国各地で発生しています。
播磨町消防団は、台風シーズンを前に、水害に対する意識の向上と水防技術の向上を図るために9月26日水防訓練として、土のう訓練を実施しました。
加古川市消防本部東消防署播磨分署の指導のもと、水防工法などについて学習した後、土のう約200袋を作成し、積土のう工法を実践しました。



▲積土のう工法実践中

交通事故のないまちにしよう

子ども警察官交通安全啓発活動

9月28日の午前7時30分から、播磨南小学校1年生の子ども警察官10人が、山陽電鉄播磨町駅の通勤・通学利用者に対し、「交通安全に協力してください」と呼びかけて、交通安全啓発活動を行いました。



播磨町長や白バイ隊員も参加し、多くの人に交通安全をうったえかけました。



▲500人以上の駅利用者に呼びかけました。「敬礼！」

高齢ドライバー講習を実施しました

9月29日の午前9時30分から、東播自動車教習所で31人の高齢ドライバーが、DVDを利用した交通安全教育プログラムを受講しました。

グループに分かれての意見交換や車両に乗っての実施訓練とおして、体の衰えを実感することも、事故防止の意識を高め、慎重に運転することの大切さを学びました。



▲危険予測や事故事例を題材に意見交換を行いました



播磨ふれあいの家
だより



▶日本三大ねぎ 岩津ねぎ

「秋の特別企画」ということで『天空の城・竹田城跡と城下町・出石散策へ』1泊2日のツアーを募集しておりますが、これから冬に向けての『カニツアー』を計画中です。

★朝来特産「岩津ねぎ」…11月解禁！ 毎年11月の20日前後から販売開始となります。

播磨ふれあいの家より

▶予約・問合せ ☎079 (678) 1481

わんぱくはりまっ子



左から ^{みやかわ} ^{みり} 宮川 実ちゃん、^{さこだ} ^{あやか} 迫田 彩花ちゃん、^{わかばた} ^{もね} 若畑 百音ちゃん、^{つじもと} ^{ゆあ} 辻元 結愛ちゃん (全員1歳)

9月生まれのお誕生会。楽しかったネママたちより

楽屋裏

表紙の写真は北池広場のフェンス沿いに咲いたヒガンバナです。根に毒を持っていることから、昔はモグラやネズミを避けるために田畑のあぜや墓地にヒガンバナを植えたと考えられています。

畑の一角のような古い墓地で、明治17年という年号が読み取れる墓石を守るように、赤と白のヒガンバナが咲き乱れているのを見かけました。ずっとこの地を守ってきた彼岸の花を見て、先祖の思いを感じました。(宮)

いいね!
はりま

町政
レポート
No.46



▲パートナーの隣で静かに待つハンナ

急に秋がやってきました。駆け足で過ぎてしまいそうな秋をそれぞれのスタイルで満喫しましょう。夏の間、庁舎に涼しい影をもたらした、室温の上昇を防いでくれた「緑のカーテンプロジェクト」も終了しました。撤去してみると、その木漏れ日のやさしさと遮光効果を改めて実感しています。来年はもっと多くのところで実践することができればと思っています。お疲れさまでした。プロジェクト大成功!!

■動物愛護週間における功労表彰動物として、播磨町の岡本さんに貸与されている盲導犬「ハンナ」が選ばれました。9月28日播磨町役場で表彰式が行われましたが、黒のラブラドルレトリバーは岡本さんのそばに終始静かに待機し、時折りまわりを見回す瞳が聡明でやさしげでした。貸与されてからすでに3年が過ぎ、まさによきパートナーとして、なくてはならない存在になっているということでした。表彰式のあと、岡本さんの講演がありました。公道における障害物や施設管理、職員の声かけなど、いろいろなご示唆をいただきました。誰もが快適に暮らせる生活環境をさらに充実させていきたいと思っています。

■地域連携交流施設で染色の体験教室を行っています。私も初めて染色を体験してみました。まず、染色家の藤坂さんが育てられた「藍」の葉っぱを茎からむしりとる作業から開始。それをミキサーにかけ、その液体を入れたビニール袋の中で白布(自分の好みのものを選びます)を揉みこんでいきます。しばらく揉んだあと、流水で洗い流し、乾かして完成です。私の選んだシルクの布は、光沢の美しい深〜い海の色に染まりました。ちょっと自慢の作品になりました。皆さまも体験してみませんか。広報で随時募集しています。

播磨町長 清水ひろ子